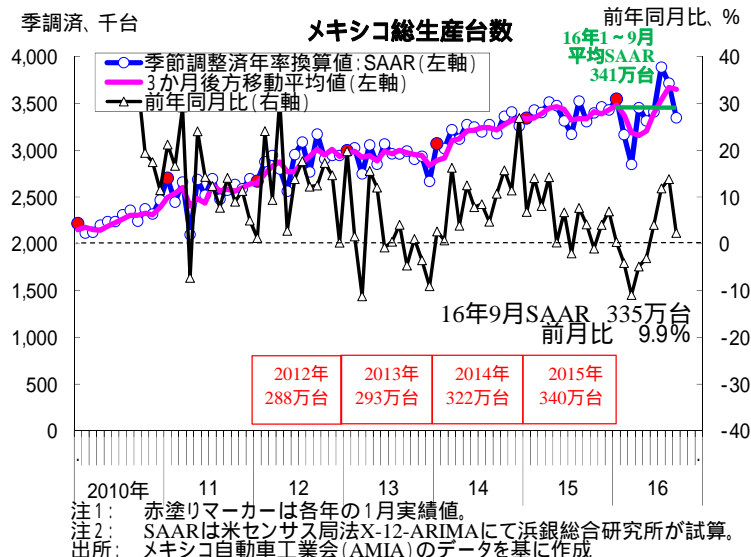


メキシコ自動車市場月次統計（2016年9月）
輸出減速により生産台数の季節調整値は2か月連続の減少

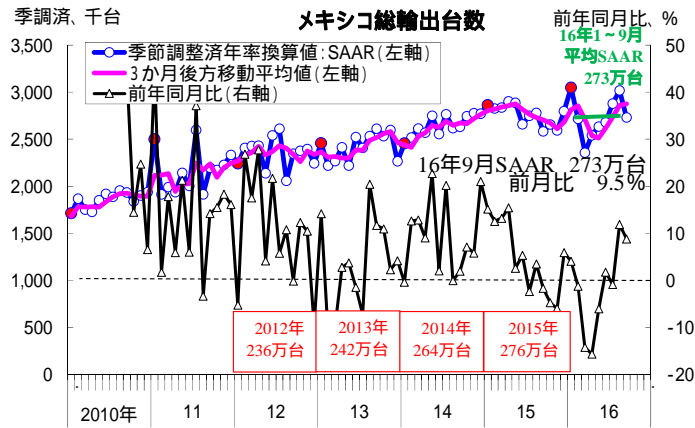
国内販売も足元では頭打ち感がある

- ・メキシコ自動車工業会（Asociación Mexicana de la Industria Automotriz）が発表した16年9月の総生産台数は、前年同月比2.4%増と4か月連続で前年超えした。しかし、季節調整済年率換算値(当社試算、以下SAAR)は前月比9.9%減の335万台と2か月連続で減少した(図表1)。年率換算値でみた1～9月平均の生産台数(341万台)は15暦年実績(340万台)を若干上回り、依然として高い水準にある。もっとも、9月は輸出台数のSAARが大きく減少したことが生産の足を大きく引っ張っており(後述)、米国新車市場の減速懸念が強まっている中、今後もこの減少傾向が続くかどうかには要注意である。
- ・9月の総輸出台数は前年同月比8.8%増と2か月連続の増加となったが、SAARは前月比9.5%減の273万台と6か月ぶりに減少した(図表2)。1～9月の輸出台数の平均SAAR(273万台)は、15暦年実績(276万台)を若干下回る水準となり、9月実績も15暦年実績を下回る水準にまで減退した。
- ・メキシコの主要輸出国である米国での新車販売の成長鈍化には引き続き要注意である。米国の9月の新車販売台数(SAAR)は前月比5.2%増の1,794万台(弊社試算)となった(図表3)。9月の販売は前月比で堅調な伸びとなったが、一進一退の不安定な動きが続いている。大手メーカーが販売奨励金を積み増しており、競争激化を背景に需要の脆弱性は強まっている。米国新車販売の減速懸念が早期に払しょくされる状況ではないため、先行きメキシコからの自動車輸出に対する下方圧力が強まる可能性が高い。
- ・メキシコの総販売台数も足元では頭打ち感がある。9月の総販売台数は前年同月比18.1%増と29か月連続でプラスとなり、SAARも前月比5.1%増の164万台と3か月ぶりに増加したが、3か月後方移動平均値でみたトレンドは下向きつつある。1～9月の総販売台数の平均SAAR(157万台)は15年実績(135万台)を上回っており、国内需要は今のところ堅調と言えるが、足元の販売の減少トレンドが今後も続くかに注目したい(図表4)。

図表1 9月生産台数(SAAR)は2か月連続の減少

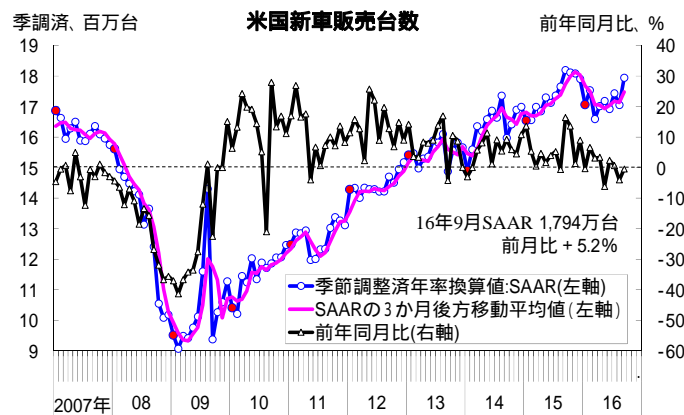


図表2 輸出台数 (SAAR) は半年ぶりに減少



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

図表3 9月の米国新車販売は増加も持続性は期待できない



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: Autodata, Bloombergのデータより作成

図表4 国内販売は3か月ぶりに増加もトレンドは頭打ち



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。
 出所: メキシコ自動車工業会 (AMIA) のデータを基に作成

担当: 調査部 産業調査室 深尾三四郎

Tel: 045-225-2375

Email: fukao@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたもので、その正確性・完全性を保証するものではありません。